

積極的な予算計上!

令和6年度一般会計予算

326 億

前年比
3.8%増

5,700万円

議 論

3月定例会

8名が一般質問

市長の施政方針を問う

私たちが
山陽小野田市の
議員です

山陽小野田市議会

vol.73 令和6年6月

地域の特性を活かした
住みよいまちづくりへの一歩

地域運営組織
推進事業 が前進

よりよい保育環境を目指す!

小野田地区
公立保育所整備

日の出保育園を建て替え整備

議員それぞれの視点で視察

Aスクエア始動

委員会レポート

Aスクエア内に
市民活動センターを創設

表紙

Renewal!

議会への関心を高めたい!

リニューアル

請願を採択

加齢性難聴者の補聴器購入の
公費負担の創設を求める

中学生が

議会を傍聴します!

6月定例会は

一般社団法人
地方公共団体政策支援機構代表
本市議会アドバイザー

長内 紳悟氏による
議員研修会を開催!

議会改革から
次のステージへ



326億5700万円を可決！

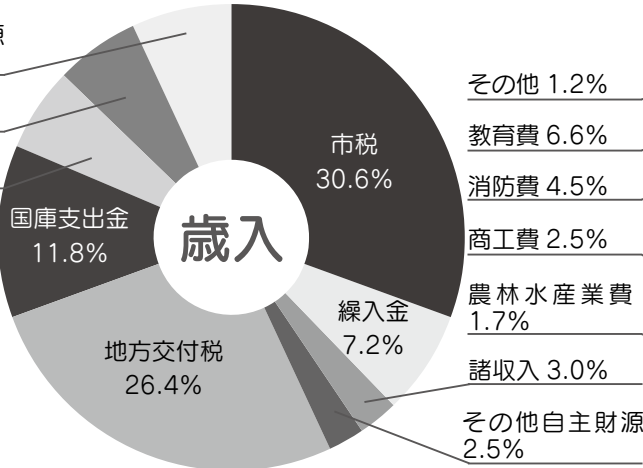
令和6年度一般会計予算総額は、歳入歳出それぞれ326億5700万円で、前年度より11億9400万円（3.8%）増額となりました。将来都市像「活力と笑顔あふれるまち」の実現に向けた重点プロジェクトの取り組みをさらに加速させていくために、必要となる事業費を積極的に予算計上したこと、物価高騰の影響等もあり、前年度を上回る予算規模となりました。

一般会計予算の内訳

その他依存財源
6.7%

市債 5.9%

県支出金 5.9%



その他 1.2%

教育費 6.6%

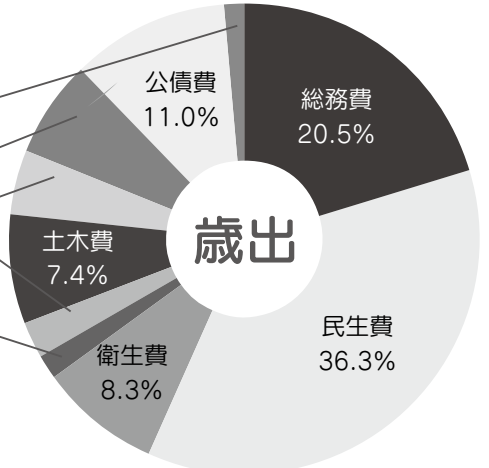
消防費 4.5%

商工費 2.5%

農林水産業費 1.7%

諸収入 3.0%

その他自主財源 2.5%



開会～

本会議

①予算説明



予算案が議会に提出され、市長が予算の説明を行う。

本会議

②予算質疑



予算案に対して、議員が質問し市長などが答える。より詳しく審査するため一般会計予算決算常任委員会に付託する。

委員会

③予算審査



一般会計予算決算常任委員会の中に3つの分科会を設置する。付託された予算案を各分科会が詳細に審査する。

委員会

④審査報告・採決



各分科会長の審査報告の後、予算案に対する質疑・討論・採決を行う。

本会議

～閉会

⑤審査報告・採決



一般会計予算決算常任委員長が審査結果を報告し、予算案に対する質疑・討論・採決を行う。本会議で可決すると予算が成立する。

予算が決まるまで

Pick up! 主要施策のうち40事業を抽出し、実施計画と事務事業評価シートを中心に予算を審査しました。

小野田地区公立保育所整備事業



予算額

5億8660万8000円

公立保育所再編計画に基づき、小野田地区の日の出保育園を整備するものです。令和6年度から新園舎建設工事を開始し、令和9年度中の整備完了を予定しています。

主な質疑

- Q** 建物の防水措置はどうするのか？
- A** 110cmかさ上げする。
- Q** 園児が楽しく通いたくなる工夫はどのようにするのか？
- A** 遊戯室に保育園らしい園児の興味を引くデザイン等を入れるよう要望する。
- Q** 危険と思われる園前の用水路はどうなるのか？
- A** 今後、保護者の送迎はその用水路を通らないようにする。

令和9年度の完成に向けて始動

地域運営組織推進事業



予算額
2877万9000円

地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす方々が中心となって、さまざまな地域課題の解決に向けた取組みを継続的に実践することを目的とした、地域運営組織の形成を推進するものです。令和6年度は地域運営組織を形成した地区に対する財政的支援や人的支援を強化していきます。

地域の特色を生かした地域づくり

主な質疑

- Q** 地域づくり交付金はどのように支給するのか？
- A** 組織ごとの上限はあるが、提出された事業計画等を基にして交付する。また事業が完了した際には報告書や決算書を提出してもらう。

地域づくり交付金とは？

地域運営組織による地域づくりのための活動に対する財政支援として交付するもの。これまで市から地域に対して交付している補助金を可能な範囲で一本化し、地区が自らの裁量で各事業への配分や使途の決定ができる仕組みである。

一般廃棄物収集運搬業務委託事業



予算額
7175万7000円

安定的な収集処理体制を維持するため、環境衛生センターによるごみの収集業務等について、段階的に民間委託を導入していくものです。令和6年度から、空き瓶、燃やせないごみ、大型ごみ、自治会清掃ごみの収集業務を民間業者に委託して実施します。

旧小野田地区ごみ収集の一部を民間委託

主な質疑

- Q** 民間委託にするメリットは何か？
- A** 外部に委託することにより、費用対効果の向上が見込める。
- Q** ごみ収集車両の台数を減らすことにより、経費を削減できるのか？
- A** 1台当たり平均約2000万円の経費がかかっており、令和6年度は5台分の業務を民間業者に委託する。委託を進めることで、将来的に経費の削減が見込める。



A I による橋梁インフラ点検・診断システム導入事業



予算額
23万2000円

市道橋の点検作業や調書作成に多くの時間とコストを要しているため、県が開発した「A I による橋梁インフラ点検・診断システム」を導入することで橋梁点検に係る時間とコストの削減を図るものです。

A I で橋梁を点検・診断

主な質疑

- Q** 点検する市道橋は何力所あるのか？
- A** 点検が必要な市道橋は、全部で233橋ある。
- Q** 本市の市道橋は、建設されて何年ぐらいになるのか？
- A** 233橋のうち、50年以上のものが約71%、30年から50年未満のものが20%程度、残りが20年未満である。

「Aスクエア」に山陽小野田市民活動センター新設

●市民活動センター推進事業

概要 LABV プロジェクトによる新施設「Aスクエア」内に、地域課題解決に主体的に取り組む市民活動団体を支援するための拠点として、「山陽小野田市民活動センター」を新設し、指定管理者アクティオ株式会社が運営を行います。施設内容は、交流ホール、会議室（1～5）、作業スペース、PC カウンター、ロッカー等があります。

予算額 6863 万 1000 円



Aスクエア

主な質疑

- Q** 市民活動センターの機能を発展的にしていくための展開はどのようにするのか。
- A** 市としては、指定管理者と伴走しながら市民活動の推進を図っていく。
- Q** 会議室等を利用できるのは登録団体のみか。
- A** 登録団体として登録していなくても、誰でも利用できる。
- Q** 登録団体には、どのようなメリットがあるのか。
- A** 会議室等の使用料が2分の1に減額されることや活動の場の提供を受けられるなどのメリットがある。

※市民活動センターHP
QRコード →



新生児への聴覚検査体制の確立を図る

●新生児聴覚検査費助成事業

概要 新生児の聴覚障害は、早期に発見し、適切に支援することにより、音声言語発達等への影響が最小限に抑えられます。この事業は、現在、全額自己負担で実施されている新生児への聴覚検査の費用を助成することで、保護者の経済的負担を軽減させ、聴覚障害がある全ての新生児をできるだけ早く療育につなぐための事業です。なお、本事業の対象者は、令和6年4月1日以降に産まれた本市に住民票がある生後1カ月までの乳児です。

予算額 178 万円



主な質疑

- Q** この検査はどこで行われるのか。
- A** 分娩を行う医療機関が主な委託先となるので産まれた病院で検査を行う。
- Q** 聴覚検査の時期はいつか。
- A** 赤ちゃんが入院している間に検査するので、通常であれば生後3日以内に行う。
- Q** 聴覚検査にかかる費用は病院によって違うのか。
- A** 市と契約した病院については、同じ金額で検査ができる。
- Q** 検査は保険対象外なのか。
- A** 保険対象外である。

◎助成対象となる検査の種類

- ・自動聴性脳幹反応検査（AABR）
- ・耳音響反射検査（OAE）

令和7年度から厚陽小中学校に校区外の児童生徒

●小規模特認校制度導入事業

概要 小中一貫校である厚陽小中学校は、少人数ならではの温かく、きめ細やかな指導や地域と連携した特色ある教育活動が展開されています。このたび、同校で教育を受けることを希望する児童生徒や保護者に対し、新たに特認校制度を整え、一定の条件の下で転入学を認めます。令和7年4月からの制度開始を目指し、令和6年度はその準備を進めます。



厚陽小中学校

主な質疑

- Q** 制度の導入目的は何か。
- A** 厚陽小中学校の地域資源、特色を生かした教育活動の下、きめ細やかな指導を通して、豊かな人間性や健やかな体、確かな学力を身に付けさせることを目的としている。また、児童生徒数が増えることで、地域の活性化にもつなげていきたいと考えている。
- Q** 入学できる対象者は。
- A** 市内の小中学校に通っている小中学生または入学する児童生徒の予定である。
- Q** 学校から住まいが遠い児童生徒の登校はどうか。
- A** 公共交通機関や自家用車等を使い、保護者の責任の下で登校することを想定している。現在、スクールバスは考えていない。

◎小規模特認校制度とは？

「学校選択制」の一形態であり、特定の学校について、通学区域に関係なく、市内全域から就学を認める制度

水道事業へ7000万円繰入れ

●令和6年度小型自動車競走事業特別会計予算

概要 予算総額は歳入歳出それぞれ261億9000万4000円で、前年度と比較して開催日数などにより2.8%の増額となりました。令和6年度は総営業日数、342日を予定しており、そのうち通常開催は年間60日、ミッドナイトレースは年間85日となります。



オートレース

主な質疑

- Q** インターネット投票業務委託料が計上されているが、売り上げに占める割合はどうか。
- A** 通常開催では約70%、ミッドナイトレースではほぼ100%インターネット投票となっている。
- Q** 市民に喜ばれてきた地域公益事業は今後どうか。
- A** 昨年度まで地域公益事業として予算計上し公共施設の修繕等に充ててきたが、必要であれば一般財源で行う。今年度は水道事業に7000万円繰り出すことにより、市民にオートレースの収益金が還元される。

大井 淳一朗議員
おおいしゆんいちろう



今こそ対策に本腰を入れるとき

【今回の一般質問】

- ・令和6年度施政方針
- ・ヤングケアラー支援
- ・第2期空家等対策計画

空き家対策

Q 第2期空家等対策計画や空き家法の改正を受けて、本市の空き家対策はどう変わるのか。

A 空き家の活用拡大、空き家の管理の確保、特定空家等の除却等の3つの柱を基本方針に掲げ、空き家対策に取り組んでいく。新たな取組みとして、空き家の所有者の実情を把握するための活用意向調査、専門的見地から所有者等に助言や提案を行う空き家流通促進プラットフォームの設立などを行う。

Q 法改正により、管理不全空家になれば固定資産税の特例措置（6分の1に減額）の対象から除外されるが、そのことについて今後どう周知していくのか。

A 固定資産税の納税通知書の中に文書を入れて周知を行う。また、市のホームページやその他の広報紙等でも周知していきたい。

利活用の側面にも着目すべき

Q 市長は空き家対策についてどう考えているのか。

A 空き家は負のイメージもあるが、利活用ができればプラスに転じるものである。担当の生活安全課と移住・定住に力を入れているシティセールス課で庁内の連携を取ることが今まで以上に大切である。しっかりと安全管理とともに利活用も強く進めていきたいと考えている。



Before

After

どう進むか協創のまちづくり

【今回の一般質問】

- ・市長の施政方針
- ・能登半島地震被災地への支援
- ・聴覚障害者への支援 など



吉永 美子議員
よしなが よしこ

本気度が試される

Q 市長は施政方針に協創を象徴する事業として、地域運営組織とLABV（官民協働開発事業体）プロジェクトを挙げているが、成功に導くために2期目最後の1年のかじ取りをどのように行うのか。

A どちらも新たな取組みであり、試行錯誤しながら進めていく場面もあると思うが、関係者全員で知恵を出し合い、共に汗を流しながら、一つ一つ課題をクリアしていく協創の力が重要である。新しいことにも果敢にチャレンジしていく中で、協創によるまちづくりのより一層の推進を図り、活力と笑顔あふれるまちスマイルシティ山陽小野田をつくり上げていきたい。

市の応援団が絶対に必要です！

Q 地域運営組織がうまく稼働していくため、市に相談しやすくするための総合支援窓口設置を市長として指示する必要性はないのか。また、モデル地区を指定する考えはないか。

A 市民活動推進課が窓口として対応していきたい。モデル地区を指定する予定はない。

Q LABVプロジェクトについて、事業の達成度をどのようにチェックしていくのか。

A プロジェクトの目標設定等については関係者間で話し合っていかなければいけないと思っている。



LABVにより完成したAスクエア



市長は市民と直接対話をしないのか

【今回の一般質問】

・令和6年度施政方針

対話が基本だ

Q 津布田小学校の廃校、下津・出合・津布田保育園の廃止および水道使用料金の値上げ等、市民生活に直結する課題こそ市長は「直接対話」で市民の声を聞くべきではないか。

A 市民の意見を広く聞く場を設け、まちづくり団体と建設的に意見交換を行い、協創によるまちづくりを進めていく。

Q 今年度は市長自らが足を運び、市民の悲壮な声に真摯に耳を傾ける、直接対話型の政治姿勢で臨むのか。

A 必要に応じて組織として対応する。案件や内容により「しんしゃく」するが、基本的には間接的民主主義のため、議会への説明が第一義と考えている。

施政方針は民意を反映した政策か

Q 自治基本条例で市長の責務は、「市民が知る権利、参加する権利を保証しなければならない」とある。4月からの「水道使用料金」値上げについては説明会は開催されず、チラシや広報紙の配布のみで、市民の声は集約されなかった。市長は説明責任を果たしたと言えるのか。

A 水道料金の改定は令和5年9月の定例会で可決された。市民の声を聞くというより、広報紙などで料金改定の啓発の徹底に努めた。説明の要望があった場合は、出前講座で対応している。



「学生寮の学生」目線のまちづくり

【今回の一般質問】

- ・起業支援
- ・歩いて楽しい街づくりを
- ・寮生と市民との融合

Q Aスクエアには学生寮と小野田商工会議所、山口銀行が同居するが、学生の起業を支援する体制がつかれないか。

A 合同会社から、起業創業支援やチャレンジショップ、トライアル機能、人材育成、DXなどに力を入れることの提案を受けている。

Q 本市の空は広い。Aスクエア周辺を、まちの歴史の掲示板の設置、交通標識や花壇の充実で、歩いて楽しい街にしていけることを提案する。

A LABVプロジェクトは、Aスクエアから半径1km圏内のエリアマネジメントにより、交流人口の増加や活気を生み出すためのまちづくりと考えている。

理科大生と市民の相互理解

Q 理科大生と市民の融和は進んでいるか。寮の学生も、ボランティア活動等で市民活動に積極的に参加すべきではないか。

A 市としては大学生にボランティアを強制できず自発的な活動によるところが大きい。学年や学科にとらわれない柔軟な発想での企画やアイデアを期待し、学生の地域活動への参画をバックアップしていく。

広がる可能性



議会中継ページを
チェック



寮費は共益費込みで約5万円

森山喜久議員
もりやまひさ

客観的な労働時間の管理を

【今回の一般質問】
・市職員の働き方・休み方



業務の平準化を

Q 市職員の労働時間の管理はどのように行っているのか。

A ICカードを令和6年2月から導入しているが、勤務時間の管理ではなく庁舎管理の観点から、鍵として使用している。労働時間の管理は所属長による管理に加えて、パソコンのログによる管理を人事課でできるように仕様を変更した。

Q 年次有給休暇の取得状況はどうか。

A 令和5年度は速報値で平均11.8日。令和4年度が10.5日であり平均で1.3日増えているので過去最高となっている。取得が5日未満は令和4年度は29%だったが、令和5年度は23.5%で、若干の改善が見られた。

時間外勤務の適切な対策を

Q 恒常的に残業している部署があるが、全体のボリュームを確認した人員配置、もしくは協働、応援体制を整えて業務の平準化を図るべきではないか。

A 新しい取組みで、昨年度から事務応援制度を導入している。閑散期の部署の職員が繁忙期の部署を手伝う仕組みで、令和4年度では延べ100名の職員が忙しい部署に応援に入っている。庁内で協力し合いながら、できるだけ業務を平準化させ、時間外を減らしていく取組みは行っている。



鍵利用のみのICカードリーダー

パートナーシップ宣誓制度の導入を

【今回の一般質問】
・障害者福祉の充実
・带状疱疹患者への支援
・学校体育館に空調設備整備



中島好人議員
なかしまよしひと

Q 宇部市では令和3年度からパートナーシップ宣誓制度が導入されており、令和6年度から、山口県や山口市も導入される。本市もパートナーシップ宣誓制度を導入したらどうか。

A 第4次山陽小野田男女共同参画プランの中で、ジェンダー平等の具体的施策として、パートナーシップ制度の調査、研究を挙げており、県や他市の取組みを参考とし、制度導入について調査研究を進めていく。

Q 宇部市では性的マイノリティ（性的少数者）への正しい理解を深めるために、毎年、市内の中学1年生にLGBTに関するパンフレットを配付しているが、本市も作成してはどうか。

A 道徳、保健体育で学習している内容なので、特に作る予定はない。

「違い」を認め合える未来を築こう

Q 宇部市では「人権が尊重される宇部市をめざして」の表紙で、市職員向けのLGBTガイドラインを策定している。本市も作成してはどうか。

A すぐに右から左にこれをやるというのではなく、総論的にパートナーシップ制度をどのように扱うか考えていきたい。

差別のない社会を





おかやまきょう
岡山明議員



道路アンダーパス の冠水事故防止

【今回の一般質問】

- ・アンダーパス冠水事故防止
- ・帯状疱疹のワクチン接種
- ・市内の浴場利用への支援

Q 市が管理する道路アンダーパスは、どこに何箇所あるのか。

A 小野田消防署近くの J R 小野田線、田辺三菱製薬工場近くの J R 小野田線、小野田オリエンタルホテル近くの J R 山陽本線、厚狭川右岸側にある広瀬地区の J R 山陽本線と山陽新幹線、厚狭駅南部地区と寝太郎町を結ぶ道路の J R 山陽本線、国道 2 号厚狭・埴生バイパスの迫山ランプをくぐる箇所、計 6 カ所である。

Q 河川には、カメラ・水位計等があるが、アンダーパス内での監視カメラ、規制基準、管理状況はどうか。

A 全てのアンダーパスには監視カメラはなく、通行止めの基準については、小野田消防署近くのアンダーパス以外は定めていない。管理状況については、通行量の多い 4 カ所は、強制的に排水ができるようにポンプを設置し、梅雨前に点検している。

6 カ所のアンダーパスは大丈夫か

Q 豪雨時には表示等を見落とす可能性がある。「自動遮断器」の設置が必要と思われるがどうか。

A 自動遮断機については、スペースとコストの問題等があると認識している。通行車の安全を守ることが第一優先であるので、調査と研究を行っていく。



消防署周辺の JR のアンダーパス

地下道冠水対策

やまだのぶゆき
山田伸幸議員



医療費を高校卒業 まで無料に

【今回の一般質問】

- ・令和 6 年度施政方針
- ・子育て支援
- ・市職員の人事政策

Q 本市の子育て支援策として子どもの医療費は中学校卒業まで無償化が実現できた。しかし、県内を見ると高校卒業まで無償化が当たり前となっていて、本市が取り残されているのが現状だ。本市も高校卒業まで無償化を実現してはどうか。

A 医療費助成制度は子どもの保健の向上に寄与し、子育て世代の経済的負担を軽減することができる。高校卒業まで無償化した場合の財政負担は約 6000 万円必要となる。その他の施策を含め総合的に安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めていく。

Q 子育て支援は人口定住の施策にも通じる。周辺自治体が高校卒業まで医療費の無償化に踏み出している中、本市が取り残されていくように感じる。担当課の努力も必要だが、藤田市長はどのように考えているのか。

A 担当部長が答弁したとおりだが、子育て支援策は多岐にわたっており、本市の特徴や強みもあるので総合的に判断していきたい。

大学卒業まで無償化できないか

Q 本市の特徴である大学のあるまちとして、医療費の無償化を大学卒業までに広げてはどうか。

A 大学生となると成人であり、理科大学以外の学生もいることや就業している人もいる中で、慎重に研究すべき課題だと認識している。



市議会モニターとの意見交換会を開催

これまでの市議会の活動や運営について、市議会モニターの皆さんから意見を聴取するため、意見交換会を4月24日（水）と25日（木）にそれぞれ2回開催しました。意見交換会で出された意見は、広聴特別委員会で議論、整理し、議長に結果を報告します。その結果は市議会モニターに報告するとともに、ホームページで公開しています。

意見交換会で出された意見

- ・YouTubeの画面にリンクを張ってほしい。
- ・YouTubeを使いたいという気持ちはあるけれど、使い方が分からないという方もいると思う。YouTubeとはこうやって使いますよ、アプリとはこういうものですよ、という講座や動画を作ってはどうか。
- ・市議会のホームページでは特に意見はないが、市の公式LINEになぜ市議会が入っていないのか。定例会の日程（一般質問、委員会）を通知できないか。
- ・議会だよりの記事は、継続的に載せてもらえないか。例えば、「堤防を造ることになった」、「予算がどれくらい」だけでなく、「後日、堤防がこんなふうにした」という写真を載せるなど、継続的に、結果まで載せてほしい。



議会カフェ 108 人の市民が参加！

議会報告会
&
意見交換会

議会カフェを5月15日（水）、16日（木）の2日間にわたり、厚狭地域交流センター、Aスクエア、高泊コミュニティ体育館、埴生地域交流センターの4カ所で開催しました。市議会議員が皆さんの地域にお邪魔し、議会でどんなことが話し合われたのかを報告し、皆さんの生活に関わりのあること等、いろいろなお考えを聞かせていただきました。

主な報告内容

- ◇「A スクエア」に、市民活動団体の支援拠点を新設
- ◇厚陽小中学校に小規模特認校制度を導入
- ◇ごみ収集運搬業務を段階的に民間委託
- ◇新生児の聴覚検査費用の助成
- ◇水道料金値上げ分の緩和のため、令和6年度にオートレースの会計から7000万円を市に繰り入れ、水道会計に市が出資する

参加者の感想

- ・今回の会場は広く、隣のテーブルの話を気にせずに、意見交換ができてとても良かった。
- ・内容の濃い時間だった。4度目の参加だが、また参加したい。
- ・初めての参加したが、身近な話ができ、聞けて良かった。
- ・種々の意見に対して詳細に応答してもらった。
- ・体育ホールの利用はエアコンが必要ないときは大丈夫だと思う。



市民の要望の実現に向けて、 請願を議員全員で採択！

全員賛成 /

加齢性難聴者の補聴器購入に公費助成制度の創設を求める請願書

高齢者の社会参加を促進

- この請願書は、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公費助成制度の創設を求めるものです。
- 加齢性難聴は認知症等の原因の一つで、高齢者の社会参加を促進し、健康寿命を延伸するためには補聴器の着用が不可欠です。しかし、補聴器は高額であるため、年金で生活する高齢者が補聴器を購入することは経済的負担が大きいです。
- 本市議会は、令和4年6月に同じ趣旨の請願を趣旨採択しました。しかし、現在、補聴器の補助制度を創設している自治体数は、そのときの3倍以上である239自治体まで増加しています。そのため、今回改めて本市でもそのような制度の創設が求められました。

委員の意見

- 加齢性難聴者が安心して社会生活を送ることができるよう、市の助成制度は必要である。
- 能力のある高齢者が難聴により社会で活動しづらくなることは、本市にとって大きな損失である。
- 補聴器をつけることで生活の質が向上することを周知していくことが必要である。



引き続き「中学生を対象とした本会議の傍聴」 に取り組みます！

市議会の活動を知ってもらい興味、関心を持ってもらうため、中学生を対象に本会議を傍聴してもらう取組を令和5年6月議会で開催しました。

市内の中学生が実際に本会議を傍聴することで、議会や政治に対する関心が高まったとの声が多くありましたので、今年度も学校の協力の下、実施します。

- ☐ 日付 令和6年6月18日(火)
- ☐ 場所 山陽小野田市議会議場
- ☐ 対象者 小野田中学校3年生 竜王中学校3年生
- ☐ 傍聴内容 一般質問

※傍聴以外の生徒は学校でオンラインで視聴していただきます。

『開かれた議会』、『市民に親しまれる議会』
を目指していきます



前回は高千帆中学校3年生が本会議を傍聴

LABVプロジェクト複合施設 「Aスクエア」を視察

市が進めてきたLABV（官民協働開発事業体）プロジェクトの複合施設「Aスクエア」が4月1日から供用開始となりました。

大学生が中心部で生活することでまちが活気づくことも期待されます。

“地域・まちづくりの拠点”として、再整備によるにぎわいの創出を期待するとともに交流人口の拡大、商業振興など、議会として今後の取り組みをしっかりとサポートしていきます。

入居施設一覧

- ・福祉センター
- ・市民活動センター
- ・小野田商工会議所
- ・山口銀行小野田支店
- ・山口東京理科大学学生寮…全66室満
(3、4階：男子専用 5階：女子専用)
- ・公園通出張所
- ・地域職業相談室

鉄筋一部鉄骨造り
5階建て



◆議員研修会を行いました◆

- 日時 令和6年4月19日（金）午前9時～
- 場所 山陽小野田市役所
- 講師 長内 紳悟氏（一般社団法人地方公共団体政策支援機構・本市議会アドバイザー）
- 講演内容 ～議会が目指す議会像と市の地域将来像の実現に向けて～

はじめに

- ・行政はルールに沿って仕事をする
- ・ルールにないからやらない

そこから一步！

- ・議会はルールを作る側である
- ・ルールがないなら作る
- ・ルールが機能していないなら改める



今回の研修のポイント

- ◆これからは政策の事後評価（PDCA）から事前評価（EBPM）である
- ◆地域将来像の実現に向けて、議会は話し合いの公共広場であるべき
- ◆議会改革から次のステージへ
- ◆データやKPIに基づいた計画を作る

全国における議会のトレンドや先進的な取組事例の紹介もありましたが、まずはデータやエビデンスを活用し、市の「現在地」を把握することが重要であるとのこと。

市民の幸福をつくるための議会の在り方を学び、本市議会が進めている政策提案に向けた一歩となる有意義な研修となりました。

政治倫理審査会

●審査会の設置

令和5年5月26日に山陽小野田市議会議員政治倫理条例（以下「条例」という。）第5条の規定に基づき、104名の連署で調査請求書が提出されました。令和5年6月9日に条例第6条の規定に基づき、議長が審査会を設置し、議員8人を委員に任命しました。

●審査の目的

調査請求対象事由1～6にあるように、山田伸幸議員の行為が政治倫理基準である「市民全体の代表者としての品位と名誉を保持し、その職務に関して疑惑を持たれる行為をしないこと」また、調査請求対象事由7にあるように、「市職員の公正な職務執行を妨げ、又は当該職員の権限若しくは地位による影響力を不正に行使するよう働きかけないこと」に該当するかどうかについて、条例に照らし審査するものです。

●審査の結果

調査請求対象事由の2と4については、条例第3条第1号に違反している。調査請求対象事由7については、条例第3条第6号に違反している。

●被審査議員に対する措置

議場における議長の注意

●調査請求対象事由

- 1 職員の勤務時間中に勧誘、配布、集金作業を行ったこと
- 2 明るいまちによる個人の誹謗中傷、プライバシー侵害、事実確認の無い記事掲載
- 3 立入禁止区域内への許可なき立入り
- 4 他人の土地の無断使用
- 5 議会運営委員会での虚偽答弁
- 6 議会運営での法令遵守意識の欠如
- 7 職員が勤務時間中に公正な職務執行を行っている最中に、声をかけその職務を妨げた

◎賛否の分かれた議案の議決結果



←全議案の審議結果は、ホームページに掲載しています。

令和 6 年 3 月定例会	議決結果	議員名																			
		伊場 勇	大井 淳一朗	岡山 明	奥 良秀	笹木 慶之	白井 健一郎	恒松 恵子	中岡 英二	中島 好人	中村 博行	福田 勝政	藤岡 修美	古 豊和恵	前田 浩司	松尾 数則	宮本 政志	森山 喜久	矢田 松夫	山田 伸幸	吉永 美子
山陽小野田市教育委員会の委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	
令和 6 年度山陽小野田市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
令和 6 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
令和 6 年度山陽小野田市介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
令和 6 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
山陽小野田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

○：賛成 ×：反対 ー：棄権または欠席

高松秀樹議員は議長であるため賛否の結果はありません。

～議会だよりをリニューアルしました～

本号より表紙をリニューアルしました。2017年5月以来の変更です。

■見てもらえるように！■

議会は「言論の府」と呼ばれています。議論によって物事を決める場である議会を表現するために、ちょっぴり挑戦的でどこかで見たことのあるような表紙に変更しました。

■広報特別委員会での議論■

- 手に取ってもらうための表紙として、週刊誌風はインパクトがある。
- 週刊誌風は過激で議会になじまない。市民の笑顔がふさわしいのではないか。
- 市の広報紙との差別化を図るため、議会独特の表紙が望ましい。

2017年5月発行の（Vol.47）から（Vol.72）まで、市内在住のイラストレーター来嶋靖枝さんに市内の名所やイベントをモチーフに表紙のイラストを描いていただきました。これまで素敵なイラストをありがとうございました。

前回



今回



次回もお楽しみに！

議論を重ねた結果、今号より「議論」を前面に出した新しい表紙となりました。市民の皆さまに、議会がどのような審査を行い、どのような活動をしているかなどを分かりやすく伝えられる紙面作りに努めていきます。

お知らせ

6月定例会会期日程（予定）

本会議の日程

会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	本会議
6月11日(火)	議案上程・説明
6月18日(火)	※一般質問
6月19日(水)	一般質問
6月20日(木)	一般質問
6月21日(金)	一般質問
6月24日(月)	一般質問
6月27日(木)	質疑・討論・採決

※中学生を対象とした一般質問の傍聴を予定しています。

編集室より



▼色とりどりの紫陽花が見頃となった。本市では市民が健康寿命を延ばし、笑顔で年を重ねるために、さまざまな取り組みを行っている。健康状態を知る、運動習慣をつくる、食事の環境や内容を改善する、生きがいづくりや人とのつながりに向けた取り組みなどである。また、健康診断を受けることも大切だ。健康遊具の設置も市内の公園で進められているので、身近なところで楽しみながら筋力アップに励むこともできる。皆さまもスマイルエイジングに向けて、市で行っている多様な健康づくり事業に参加してみてはどうか。本議会としても健康意識の高いまちづくりに向けて市民に啓発し、市民の声を届けていく。（古）

発行 山陽小野田市議会／編集 広報特別委員会

〒756-8601 山陽小野田市日の出一丁目1番1号

☎ 82-1182

ホームページ <https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/sigikai/>

発行日 令和6年6月1日



市議会
ホームページ



市議会
フェイスブック



市議会
ユーチューブ